

ハイキング部だより

第229回

令和5年(2023年)4月1日(土)～元茨木川緑地から総持寺へ

コース:阪急南茨木駅～桜通り(元茨木川緑地)～茨木神社～
川端康成文学館～安威川・茨木川合流の碑～総持寺～
阪急総持寺駅(約8キロ)

参加者 18名

4月1日(土)晴、汗ばむような天候のもと第229回ハイキングを実施しました。参加者18名。桜は満開で早くも散り始めていました。10時阪急「南茨木駅」をスタート、しばらく線路沿いを歩いて元茨木川緑地へ、安威川との合流に伴い廃川となった元茨木川が公園として整備され「桜通り」と愛称がつけられてハイキングコースとなりました。桜の名所としても知られ多くの方が歩いていました。

茨木神社に立ち寄りそのあと「川端康成文学館」を見学しました。川端康成は旧制中学校卒業までを茨木で過ごしました。文学館は昭和40年に開館し原稿や書簡など約400点が常設展示されています。見学のあと近くの公園で昼食を摂り食後総持寺へ、西国三十三ヶ寺の第22番札所です。開基の藤原山蔭は四条流庖丁道という新たな包丁式(料理作法)を定めたことから料理人の信仰を受けています。その後阪急総持寺駅に向かって歩きここで解散しました。



総持寺をバックに

第229回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 元茨木川緑地から総持寺へ ～

日 時:令和5年4月1日(土) 10時 阪急京都線「南茨木駅」集合

コース:阪急南茨木駅～桜通り(元茨木川緑地)～茨木神社～
川端康成文学館～安威川・茨木川合流の碑～総持寺～
JR総持寺駅または阪急総持寺駅(約8キロ)

茨木市は古くから城下町として栄え茨木周辺はキリシタン大名である高山右近の旧領でした。1970年吹田市で開催された万博により都市開発が急速に進みました。今回は元茨木川緑地を歩くコースです。安威川との合流に伴い廃川となった元茨木川が公園として整備され「桜通り」と愛称がつけられてハイキングコースとなりました。桜の名所として知られ毎年4月には「茨木市民さくらまつり」が開催されます。

総持寺は真言宗の寺院で西国三十三か所の第22番札所です。開基の藤原山蔭は四条流庖丁道という新たな包丁式(料理作法)を定めたことから料理人の信仰を受けています。川端康成は幼児期から旧制中学校卒業期まで茨木で暮らしました。川端康成文学館は昭和60年に開館し原稿や書簡など約400点が常設展示されています。



元茨木川緑地